

2024年11月5日発表

報道関係者各位

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

JPRS が Internet Watch Foundation に入会

- 子どもの性的虐待表現物の削除に向けて連携、不正行為に用いられるドメイン名への対応を強化 -

株式会社日本レジストリサービス（以下 JPRS、本社：東京都千代田区、代表取締役社長 東田幸樹）は、本日、「子どもの性的虐待表現物（CSAM：Child Sexual Abuse Materials）」の撲滅を目指して活動する英国の非営利団体「Internet Watch Foundation（以下、IWF）」に、2024年11月1日に入会したことを発表しました。

IWF は、CSAM を判定・通知するサービスをグローバルなプラットフォームを含む 200 以上の会員に提供しており、全世界を対象に CSAM の報告を受け付けるホットラインの運営や、CSAM と判定したコンテンツの削除要請などを行っています。

近年、インターネットにおける CSAM 撲滅の取り組みは、喫緊に対応すべき課題として国際的な広がりを見せています。2023 年に英国政府が提案した「Removing child sexual exploitation and abuse materials：call to action（子どもの性的搾取・虐待表現物の削除：行動呼び掛け）」には日本を含む 71 カ国が署名しており、2023 年の G7 広島サミットのコミュニケにも、オンラインプラットフォームにおける子どもの性的搾取及び虐待を阻止する旨が盛り込まれています。

JPRS は、これまでもフィッシングを始めとする不正行為に用いられるドメイン名への対応に、関係組織と連携して取り組んできました。このたびの IWF 入会により、IWF から通知される具体的な所在情報を元に、CSAM への対応を積極的に行っていきます。

JPRS は、今後もネットワークの基盤を支える企業として、より安心して利用できるインターネットの実現に向けた取り組みを続けてまいります。

■株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

<https://jprs.co.jp/>

ドメイン名の登録管理とドメインネームシステム (DNS) の運用を中心としたサービスを行う会社。2000年12月26日設立。JPRSはネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献することを企業理念として活動しています。

■参考 URL

1. Internet Watch Foundation (IWF)

<https://www.iwf.org.uk/>

2. 71 countries call to remove online child sexual abuse materials

<https://www.gov.uk/government/news/71-countries-call-to-remove-online-child-sexual-abuse-materials>

3. G7 Hiroshima Leaders' Communique

<https://www.mofa.go.jp/files/100506875.pdf>

4. G7 広島首脳コミュニケ (2023年5月20日)

<https://www.mofa.go.jp/files/100507035.pdf>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日本レジストリサービス (JPRS) 広報宣伝室

TEL: 03-5215-8451 FAX: 03-5215-8452

E-mail: press@jprs.co.jp

<https://jprs.co.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-8-1 千代田ファーストビル東館